

### 人権講演 水谷 修

「あした、笑顔になあれ…」  
〜夜回り先生からのメッセージ〜

昨年11月23日、ふれあいセンターサンホールで行われた人権講演。約400人の来場者が水谷氏の言葉に心を打たれました。その内容は、現実に子どもたちが直面している悩みの数々。助けることのできた命と、助けられなかった命。その原因はどこにあるのか。水谷氏は、子どもたちと接してきた経験から、私たちにメッセージを伝えてくれました。その一部を紹介します。

# ごめんね子どもたち

## Profile

横浜市にて、長く高校教員として勤務。生徒指導を担当し、若者から「夜回り」と呼ばれている深夜の繁華街のパトロールを通して、多くの若者とふれあい、彼らの非行防止と更生に取り組んでいる。また、全国各地からのメールや電話によるさまざまな子どもたちからの相談に答え、子どもたちの不登校や心の病、自殺などの問題に関わっている。



香南市人権啓発フェスティバル

## ■夜回り

今から20年前、全国最多の生徒数の公立夜間高校に勤務していた。当時の夜間定時制高校はめちゃくちゃに荒れ、横浜市立暴力団養成所とまで呼ばれていた。その学校に勤務した日から夜回りを始めた。夜の11時にまちに出て、子どもたちを見かけたら「中学生か？高校生か？早く帰れ」と声をかけ、体を売っている女の子がいたら「先のことを考えろ。いつかお前はお母さんになるぞ。お前の子どもがどう思う。昼の世界に戻ろう。戻れるよ。苦しい紐がついているなら、ほどいてやる。電話しろ」と名刺を渡す。薬物の売人がいたら、その前に立つ。そういう生活を20年やってきた。

## ■忘れられない夜

マサフミの父親は3歳のときに拳銃で撃たれて死んだ。お母さんは、マサフミが5年生のとき、病気で寝たきりになった。アパートは、電気もガスも止められ、食べ物もコンビニを回って賞味期限の切れた弁当をもらっていた。そのうち、同級生に事情を知られ、ひどいイジメに遭い、それを救ってくれたのが、同じアパートに住む暴走族のお兄さん。マサフミは小学6年生で暴走族に入り、シンナーを吸い始めた。そんなマサフミに出会ったのは夜間定時制高校の入学式のとき。マサフミは一緒に夜回りをし、いかがわしいヒラがあれば、はがすの手伝ってくれた。

「先生と暮らしたらシンナー吸えないから、やめられよ」と言って家に来た。水谷家で暮らした1週間はシンナーをやめられたが、アパートに戻って3・4日するとまた吸い出した。ある日、マサフミは「悪いけど、先生じゃ

俺を救えないよ。専門病院に連れていってくれないか」と言ってきた。ムカツときた。やめられないのは根性がないからじゃなく、かといって一緒に夜回りに行きたいというマサフミを僕は嘘をつき追いつ返した。マサフミはエレベーターの方へ歩いて行く途中、振り返って一言こう言った。「水谷先生、今日、冷たい言葉になった。それからわずか4時間後、シンナーを吸ったマサフミは、ヘッドライトが何かに見えたのだから、ダンプに飛び込んで死んだ。その知らせを夜回りの最中に聞いた。救えたはずだった。あの時、彼をひきとめてさえいれば。」

火葬後、骨はほとんど残っていなかった。お母さんは遺灰を握りしめ「シンナーが憎い。息子の命を奪い、骨も奪った」と言った。僕とお母さんは、形の残っていないマサフミの骨を、いの中にか手でかき集めていた。見かねたでしょう。職員さんが道具を持ってきてくれた。人生には償えないことがある。だから僕は夜の世界で生きていく。第二のマサフミをつくらないように。

## ■子どもたち、ごめん

我々大人たちは、子どもたちに謝らなければならぬ。大人たちはどんなでもないけど、社会を作った。子どもたち、本当にごめん。最も心安らぐ場ではないけれど、ない家庭に夜の世界のイライラ、攻撃性、悲しみが入ってきている。これが子どもたちから生きる力を奪い、追い詰めている。

自らを見失い、生きる力を失い、自信を失った子どもたちが私たちに与った大きな問題をぶつけてきている。「いじめ」「不登校」「引きこもり」「心の病・リストカット」「自殺」「非行・犯罪・薬物乱用」。子ども

もたは家庭でも学校でも認めてもらえない。夜の世界の大人たちは子どもたちに優しい。それにだまされて悪の道に入る。あるいは薬物に救いを求める。人は認められ、評価されることによって、明日を生きていく力、自信につながる。

明日から、子どもたちが1日30個は美しい言葉、やさしい言葉、認めてもらえ、ほめてもらえる家庭作りをやってみませんか。叱るはいけないとは言わない。悪いことをやったら叱らなければいけない。子どもたちの周りを美しい言葉、優しい言葉が囲んでいたら、どの子がいじめられますか。どの子が心を閉ざし、不登校になりますか。どの子が心を病んで、死へと向かいますか。

## ■心と体は一体

後天的な心の病(うつ、リストカット)は現代病といわれ、すべて心身の分離から起こっている。肉体は疲れていないのに心と頭が疲れている。これを逆手にしたら解決方法になる。学校へ行きたくない、夜遊び、夜の間にゲーム、リストカット。そんなとき、一番最初にやるべきことは、教育相談でもカウンセラーでもない。家族みんなで走る。夕食の後10キロ走って、汗を流す。疲れて眠る。健全な肉体にしか健全な精神は宿らないのだから。

お金を使わずにこの香南から不登校、引きこもり、いじめ、心の病がほぼゼロ、それどころか子どもたちの偏差値が上がる簡単な方法がある。来週から小・中学生は授業が終わったら校庭を走って帰る。これをやるだけでぜんぜん違う。心が苦しくなったら、心が病んだら体をきっちり鍛える。心の病は体から直すことだ。

## ●参加者の感想●

講演会を聞いて2回涙がでました。自分は今、少いうつ状態ですが、前向きに生きようという気持ちになりました。試験発表もあり中学生の娘を連れて来なかったのですが、2時間の勉強より先生の話の話を聞かされたかったと後悔しました。今日から考え方を換え、感謝の言葉を行動に移します。

# 市役所 あこれやこれや 2011~2012

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです

## 12. 9(金) おもてなしの心に磨きをかける

香南市案内人会(12人)が、香川県東かがわ市の讃州井筒屋敷を観光視察しました。案内人会は、香南市を訪れた人に対して市内各地をおもてなしの心でガイドし、地域のイメージアップと活性化を図ることを目的に、平成22年度に設立されました。今回、東かがわ市で精力的に活動している観光ガイド団体「引田まち並み保存会」と交流し、運営体制やガイドの方法等についてお話を伺いました。意見交換も活発に行われ、有意義な視察となりました。



▲ガイドの話を聞く案内人

商工水産課 ☎57-7520

## 12. 13(火) 環境出前授業～省エネチャレンジしました～



▲電卓でCO2削減成果を計算中

夜須小学校6年生を対象に、高知県地球温暖化防止活動推進員を講師に迎え、2回目の環境出前授業を実施しました。

前回授業のあと約3カ月間、子どもたち自身が家庭でエコ隊長となり、光熱水費のCO2削減を目指し省エネにチャレンジしました。その結果を環境家計簿に記帳し、CO2排出量として計算すると、クラス全体で大きな削減成果を得ました。また、子どもたちが家庭で取り組んださまざまなエコアイデアを発表。日々のコツコツした節電の努力、ムダの削減、もったいないことはいないなど自ら体験の中で学習することができました。この取り組みを活かし環境に対する意識を日々育んでほしいと思います。

環境対策課 ☎57-8508

## 12. 1(木) 香南市人事

人事異動  
■平成23年12月1日付  
◆市民保険課から学校教育課 主査 立仙 美鈴  
◆沖縄県八重町企画財政課派遣(総務課付け)から商工水産課 主事 山本 正志  
◆学校教育課から沖縄県八重瀬町企画財政課 主事 宮里 兼也  
総務課 ☎57-8500

## 12. 2(金) 第1次香南市振興計画 後期基本計画



合併により新市としてスタートした香南市。新しいまちの速やかな一体化と、魅力あるまちづくりの方向を定めた「第1次香南市振興計画」の後期基本計画(期間:平成24~28年度)が行われ、これらの案について市長より諮問を受けた20人の香南市振興計画審議会委員(会長:松山好、副会長:大谷美保)による審議が始まりました。「来たい、住みたい、働きたいまち香南市」を目指したさまざまな施策案について、事業の継続、必要性などの検討が行われています。

## 12. 4(日) きれいなまちへ

住民参加のもと、市内一斉清掃を行いました。道路や水路に捨てられたビン・缶・可燃ゴミ、集積所に不法投棄されたゴミなどを回収。集められたゴミは、職員が各地域から回収して町別に集積所に運び、最終処分場で処分しました。合併後10回行っていますが、今回もたくさんのゴミの山ができ、その量は約23トン、総処分費用は約110万円でした。

企画課 ☎57-8503



▲集められたゴミを収集する職員

環境対策課 ☎57-8508

## お詫びと訂正

2011年12月号22ページ「市職員の給料等状況」の2の職員の初任給月額が間違っていました。正しくは、「大学卒161,900円、高校卒140,400円」です。訂正してお詫びいたします。

総務課 ☎57-8500

## 市職員の不祥事について

昨年は、全体の奉仕者として全力で職務に専念すべき本市の職員が起した不祥事により、多くの皆さまにご心配をおかけいたしました。また、市民の皆さまからの信頼を著しく失墜いたしましたことについて、心よりお詫び申し上げます。

昨年8月12日、休暇中の女性職員が香南市内の量販店において商品を万引きし、香南警察署に検挙されました。公務員であるという以前に社会人としての意識が欠如した本行為について、誠に遺憾であると同時に厳しく受け止め、深く反省しております。当該職員につきましては、昨年12月、市職員としてあるまじき言語道断の事件として懲戒処分を決定し公表いたしました。

皆さまの信頼を大きく裏切る本事件について、重ねてお詫び申し上げますとともに再発防止に努め、すべての職員に対し公務員倫理と綱紀粛正の徹底を図ってまいります。

香南市長 仙頭 義寛